

# 竹原市人事行政の運営等の状況

竹原市職員の任用・給与等の状況を、市民の皆さんに知っていただくため、その概要をお知らせします。

## 1 職員の任用の状況

### (1) 採用状況

職種	受験者数			採用者数			前年度採用者数
	男性	女性	計	男性	女性	計	
一般事務職	64人	37人	101人	6人	3人	9人	6人
技師	8人	1人	9人	2人	1人	3人	-
保育士	4人	14人	18人	0人	5人	5人	2人
幼稚園教諭	-	-	-	-	-	-	1人
計	76人	52人	128人	8人	9人	17人	9人

(注) 平成25年4月1日から平成26年3月31日までのものです。

### (2) 退職者数

区分	平成25年度	平成24年度
定年退職	9人	9人
勸奨退職	0人	1人
普通退職等	4人	7人
計	13人	17人
再任用職員数	5人	4人

### (3) 地位別職員数 (平成26年4月1日現在)

区分	職員数	男性	女性
部長級	4人	4人	0人
課長級	21人	20人	1人
課長補佐級	11人	8人	3人
係長級	47人	29人	18人
その他	94人	65人	29人
計	177人	126人	51人

(注) 職員のうち一般行政職のものです。

## 2 職員の給与の状況

### (1) 人件費の状況 (普通会計決算)

区分	住民基本台帳(年度末)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 (B/A)	前年度人件費率
25年度	人	千円	千円	千円	%	%
	28,046	12,453,664	175,264	2,213,770	17.8	20.2

### (2) 職員の平均給料月額、平均年齢の状況 (平成26年4月1日現在)

区分	一般行政職			技能労務職		
	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
竹原市	円 329,986	円 387,617	歳 40.8	円 374,345	円 389,478	歳 50.2
国	円 335,000	円 408,472	歳 43.5	円 287,992	円 326,611	歳 50.1

### (3) 職員の初任給の状況 (平成26年4月1日現在)

区分	竹原市	国	
一般行政職	大学卒	178,800円	172,200円
	高校卒	149,800円	140,100円

### (4) ラスパイレス指数の状況 (平成25年7月1日現在)

ラスパイレス指数	104.4
----------	-------

※ラスパイレス指数とは、地方公務員のうち、一般行政職の職員の学歴別、経験年数別構成等を国家公務員の行政職の職員と同一に仮定して各自治体ごとの平均給料額を求めて、国の平均給料額を100として算出したものです。

問い合わせ 総務課人事係 ☎ 22-7719

### (5) 職員手当の状況 (平成26年4月1日現在)

区分	竹原市			国		
	期末手当	勤勉手当		期末手当	勤勉手当	
勤期末手当	6月期	1.225月分	0.675月分	6月期	1.225月分	0.675月分
	12月期	1.375月分	0.675月分	12月期	1.375月分	0.675月分
	計 3.95月分			計 3.95月分		
退職手当		自己都合	勸奨・定年		自己都合	勸奨・定年
	勤続20年	21.62月分	28.98月分	勤続20年	21.62月分	27.025月分
	勤続25年	30.82月分	36.57月分	勤続25年	30.82月分	36.57月分
	勤続35年	43.7月分	52.44月分	勤続35年	43.7月分	52.44月分
	最高限度額	52.44月分	52.44月分	最高限度額	52.44月分	52.44月分

## 3 特別職の報酬等の状況 (平成26年4月1日現在)

区分	報酬等月額(円)	期末手当
市長	815,000円	6月期 1.90月分
副市長	665,000円	
教育長	610,000円	12月期 2.05月分
議長	440,000円	計 3.95月分
副議長	395,000円	※教育長は勤勉手当を含む
議員	355,000円	

## 4 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

### (1) 職員の勤務時間 (平成26年4月1日現在)

一週間の勤務時間	開始・終了時間	休憩時間
38時間45分	8時30分から17時15分まで	12時から13時まで

### (2) 年次有給休暇の取得状況

総付与日数 A	総使用日数 B	全対象職員数 C	平均使用日数 B/C	取得率 B/A
7,753日	1,453日	195人	7.5日	18.7%

(注) 平成25年1月1日から平成25年12月31日までの市長部局に属する一般職員のものです。

### (3) 時間外勤務及び休日勤務等の状況

時間外・休日勤務総時間数	職員1人当りの時間外・休日勤務月平均時間数
33,627時間	11.7時間

(注) 平成25年4月1日から平成26年3月31日までのものです。

## 5 職員の分限及び懲戒処分の状況

### (1) 分限処分者数

区分	休職	免職	計
勤務実績が良くない場合		0	0
心身の故障の場合	0	0	0
職に必要な適格性を欠く場合		0	0
刑事事件に関し起訴された場合	0		0
計	0	0	0

(注) 平成25年4月1日から平成26年3月31日までのものです。

### (2) 懲戒処分者数

区分	戒告	減給	停職	免職	計
被処分者数	0	0	0	0	0

(注) 平成25年4月1日から平成26年3月31日までのものです。

## 6 職員の勤務条件に関する措置の要求の状況

係属件数		平成25年度処理件数						翌年度への繰越 A-B
前年度からの繰越	新規要求	計 A	却下	全部否認	一部容認	全部容認	取下げ	
0	0	0	0	0	0	0	0	0

## 7 職員の不利益処分に関する不服申し立ての状況

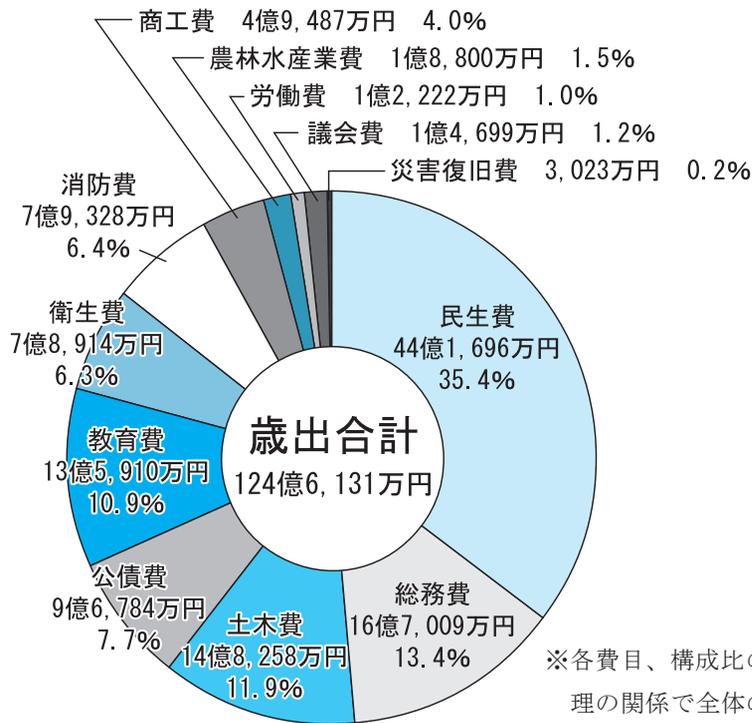
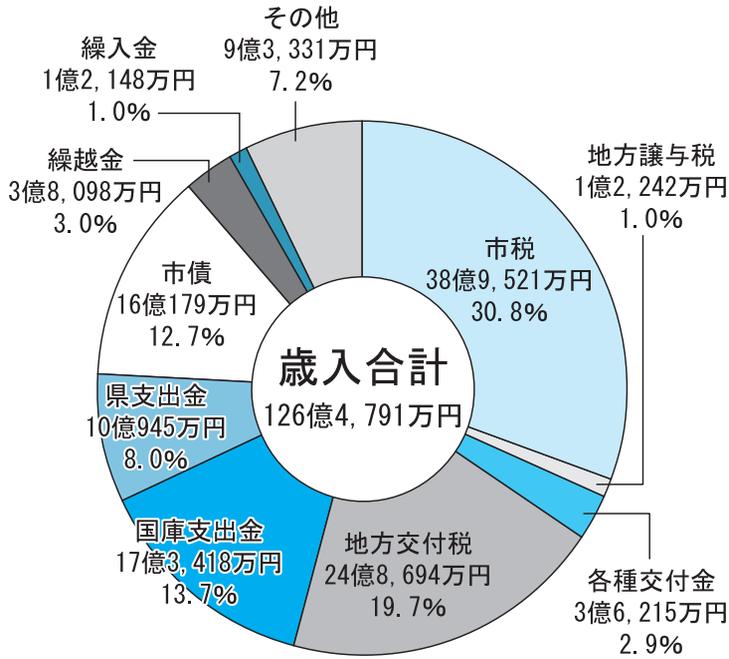
係属件数		平成25年度処理件数						翌年度への繰越 A-B
前年度からの繰越	新規申立て	計 A	却下	処分承認	処分修正	処分取消	取下げ	
0	0	0	0	0	0	0	0	0

# 竹原市の財政事情

平成25年度決算及び平成26年度上半期予算執行状況

問い合わせ  
財政課 財政係  
☎ 2217731

▼図1 平成25年度の一般会計の決算状況



※各費目、構成比の合計は、端数処理の関係で全体の計と一致しない場合があります。

## 一般会計の決算状況

平成25年度一般会計決算額は、歳入126億4,791万円、前年度(120億2,020万円)より6億2,771万円(5.2%)増加し、歳出124億6,131万

円で、前年度(歳出116億3,922万円)より8億2,209万円(7.1%)増加しています。また、翌年度に繰り越す財源を除いた実質収支は、1億6,167万円の黒字となっています。

## 【歳入】

歳入の主なものとして、市税は38億9,521万円で、固定資産税償却資産や、市たばこ税の増加等の影響により、前年度(38億5,995万円)と比較して3,926万円(0.9%)の増加となっています。

地方交付税は、24億8,694万円で、前年度(25億4,970万円)と比較して、6,276万円(2.5%)減少しています。市債は、16億179万円で、前年度(9億5,885万円)と比較して、6億4,294万円(67.1%)増加

## 【歳出】

歳出の主なものとして、総務費は16億7,009万円で、竹原駅バリアフリー化施設整備事業等の増加により、前年度(14億2,183万円)と比較して、2億4,826万円(17.5%)増加しています。民生費は、44億1,696万円で、保育所施設整備事業補助金の増加等により、前年度(43億1,717万円)と比較して、9,979万円(2.3%)増加しています。土木費は、14億8,258万円で、竹原港北崎旅客ターミナル整備事業等の増加により、前年度(12億8,855万円)と比較して、1億9,403万円(15.1%)増加しています。教育費は、13億5,910万円で、学校施設耐震化事業等の増加により、前年度(8億7,720万円)と比較して、4億8,190万円(54.9%)増加しています。

## 財政構造の弾力性

財政構造の弾力性を示す経常収支比率は、平成25年度は94・2で前年度（99・0）と比較して、4・8ポイント減少しています。人件費の減少などが主な要因となっています。

## 基金残高の減少

平成25年度末時点の基金残高は38億2,996万円で、前年度（39億570万円）と比較して、7,574万円（1・9%）減少しています。減少の主な要因は、地域振興基金、都市整備基金の取り崩しによるものです。

## 市債残高の増加

平成25年度末の市債残高は、107億9,318万円で、前年度（100億2,040万円）と比較して7億7,278万円（7・7%）増加しています。増加の主な要因は、国の経済対策による補正予算に係る事業の増加によって、市債発行額が増加したことによるものです。

## 持続的な財政運営に向けて

今後も人口減少・少子高齢化の進行による社会保障関連経費や、老朽化した施設等に対応する経費の増加が見込まれています。限られた財源で最大の効果が出るよう創意工夫のもと、「暮らしの質の維持・向上」や「交流人口の拡大から定住へとつながる施策」に取り組んでいきます。

### この言葉？

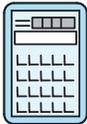
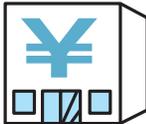
#### ① 実質収支

形式収支（単純に歳入総額から歳出総額を除いたもの）から翌年度に繰り越すべき財源を控除した決算額。実質的な収入と支出の差額を示すものです。

#### ② 経常収支比率

財政構造の弾力性を示す指標。この比率が高いほど経常的経費が占める割合が高く、臨時的な財源が必要に使用できる一般財源が少ないことを示します。

## 住民一人当たりの使い道は？

民生費 157,490 円 	総務費 59,548 円 	土木費 52,862 円 	公債費 34,509 円 	教育費 48,460 円 	衛生費 28,137 円 
消防費 28,285 円 	商工費 17,645 円 	農林水産業費 6,703 円 	労働費 4,358 円 	議会費 5,241 円 	災害復旧費 1,078 円 

平成25年度末人口 28,046 人で算出。

合計額 444,316 円

▼表1 平成25年度の特別会計決算

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	37億45万円	36億6,206万円
貸付資金	1,319万円	1,319万円
港湾事業	4,881万円	3,522万円
公共下水道事業	7億5,103万円	7億5,103万円
公共用地先行取得事業	0円	0円
介護保険	31億7,388万円	31億5,912万円
後期高齢者医療	4億1,304万円	4億1,215万円

特別会計の決算状況は、表1のとおりです。

## 特別会計決算状況

# 財政健全化判断比率の状況

財政健全化判断比率については、表2のとおりです。

▼表2 健全化判断比率

健全化判断比率	平成25年度指標	平成24年度指標	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	赤字なし※	赤字なし※	(14.02)	(20.00)
連結実質赤字比率	赤字なし※	赤字なし※	(19.02)	(30.00)
実質公債費比率	8.1	8.6	(25.0)	(35.0)
将来負担比率	32.6	30.5	(350.0)	—

※実質赤字額または連結実質赤字額はないため、赤字なしと記載しています。

## この言葉??

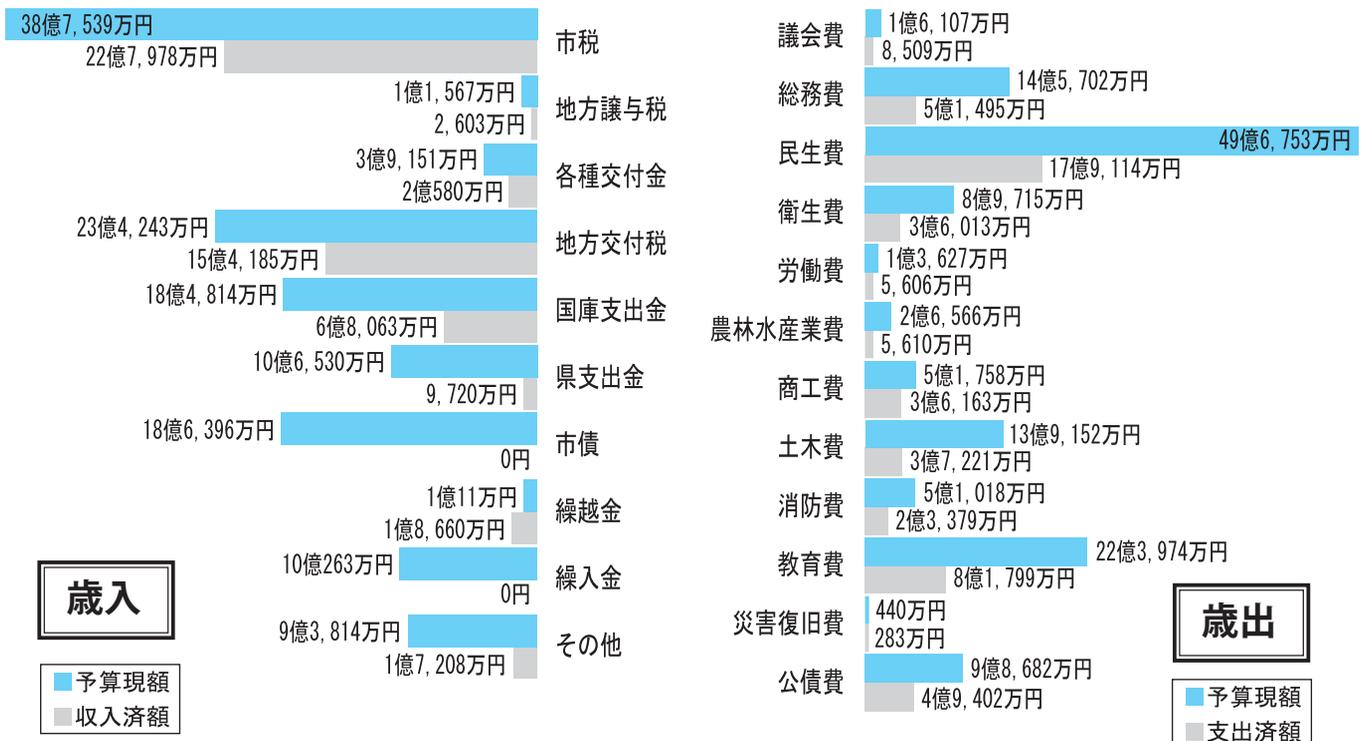
- ①実質赤字比率 一般会計等についての赤字額を標準財政規模で除したものの。
- ②連結実質赤字比率…市の全ての会計の赤字額と黒字額を合算して、その赤字額を標準財政規模で除したものの。
- ③実質公債費比率…一般会計等の支出のうち、公債費や公債費に準じた経費（公債費にあてるための繰出金等）を標準財政規模で除したものの。
- ④将来負担比率…一般会計等が将来負担することとなっている実質的な負債（地方債償還や退職手当等）から、負債の償還に充当可能な基金等の残高を控除したものを標準財政規模で除したものの。
- ⑤標準財政規模…地方公共団体の一般財源の標準的な大きさを表す指標で、地方税や地方交付税など、地方公共団体が自由に使えるお金の大きさを表したものの。

平成26年度9月末現在の一般会計予算額は、135億4,327万円で、収入済額は51億8,998万円（執行率は38.3%）、支出済額は51億4,594万円（執行率は38.0%）となっています。一般会計の款別予算執行状況及び各特別会計の予算執行状況は図2及び表3のとおりです。

## 平成26年度上半期の予算執行状況

健全化判断比率は、それぞれ財政再生基準、早期健全化基準が設けられており、これらの基準を上回った団体は、財政健全化計画の策定を義務付けられます。竹原市はいずれの指標も基準を下回っています。

▼図2 平成26年度上半期の一般会計の予算執行状況



▼表3 平成26年度上半期の特別会計の予算執行状況

会計名	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
国民健康保険	37億6,748万円	12億7,037万円	33.7%	15億6,760万円	41.6%
貸付資金	1,096万円	544万円	49.6%	577万円	52.6%
港湾事業	5,083万円	3,003万円	59.1%	1,610万円	31.7%
公共下水道事業	8億3,412万円	2,193万円	2.6%	2億6,757万円	32.1%
公共用地先行取得事業	1,000円	0円	0.0%	0円	0.0%
介護保険	33億3,612万円	12億9,684万円	38.9%	13億5,323万円	40.6%
後期高齢者医療	4億3,183万円	1億2,887万円	29.8%	1億8,700万円	43.3%

# 水道事業会計

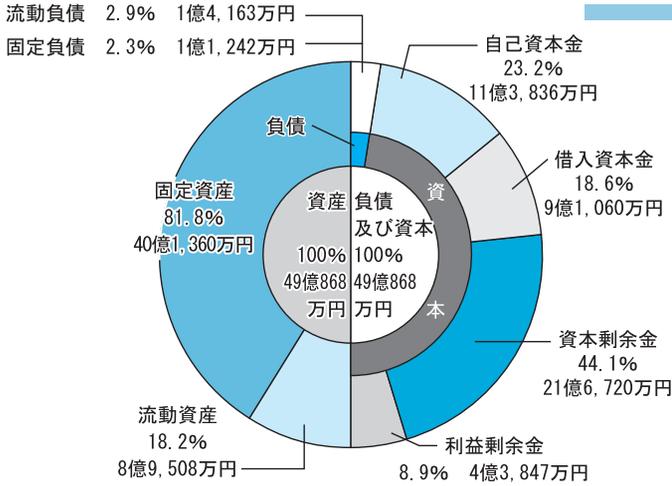
## 平成25年度の決算

● 収益的収支（消費税込額）  
 収入総額 7億8,134万  
 314円に対し、支出総額  
 7億3,400万7,349  
 円で差引当年度純利益4,  
 733万2,965円となり  
 ました。

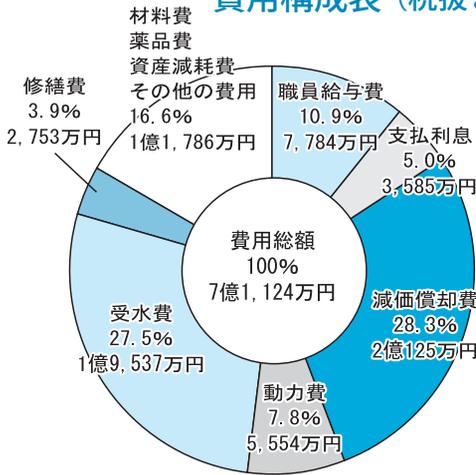
● 資本的収支（消費税込額）  
 収入総額 1億9,598万5,  
 091円に対し、支出総額  
 3億7,185万5,532円  
 で1億7,587万441円の

不足が生じたので、当年度分  
 及び過年度分損益勘定留保資  
 金、当年度分消費税及び地方  
 税資本的収支調整額で補てん  
 しました。

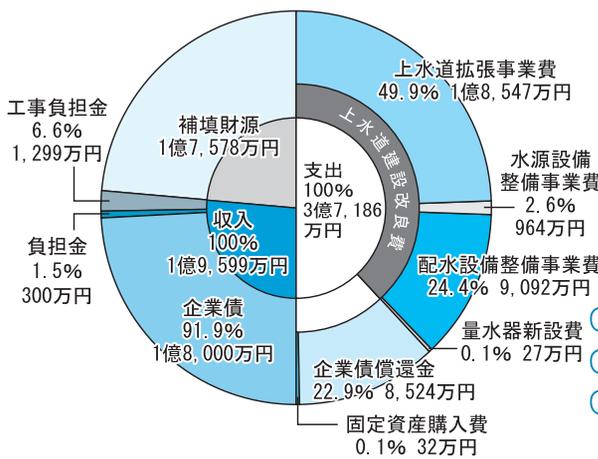
### 財政状況



### 費用構成表（税抜き）



### 資本的収入及び支出の状況



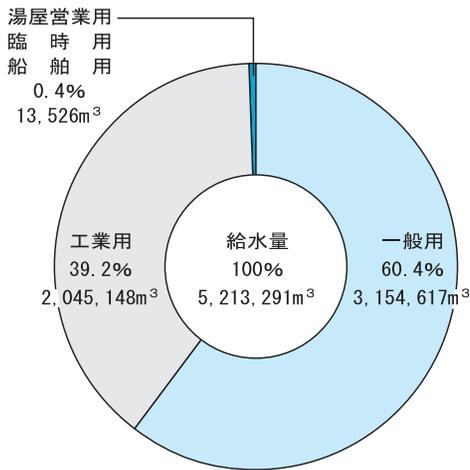
給水戸数 12,542戸

普及率 99.1%

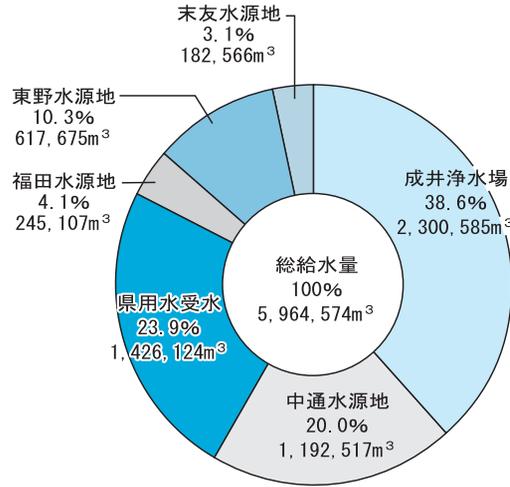
有収率 87.4%

※有収率とは、給水量に関する料金として回収された水量の比率

### 用途別給水状況



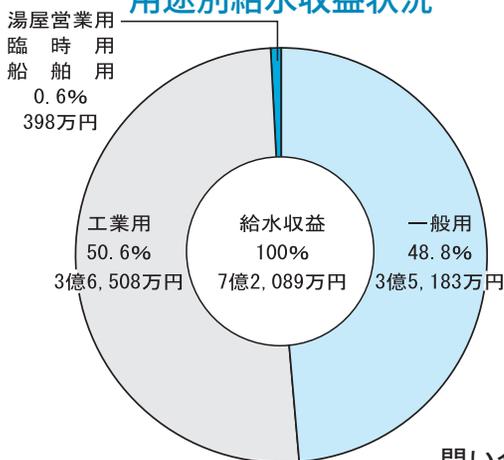
### 水源地別年間給水量



### この言葉??

- ①収益的収入  
 水道の給水に関わって得る収益。水道料金、分担金、手数料など
- ②収益的支出  
 水道を給水するための経費。施設維持管理費。人件費など
- ③資本的収入  
 施設の建設改良費に充てるため借入れた企業債や、国の補助金など
- ④資本的支出  
 施設の建設改良費、企業債の償還金など

### 用途別給水収益状況



### 平成26年度水道事業会計上半期の予算執行状況

収入		区分	支出	
9億3,974万円	収益的 収支	8億7,097万円	3億3,351万円	
4億7,313万円				
6,445万円	資本的 収支	3億4,585万円	5,673万円	
262万円				

Legend: 予算額 (White), 収入済額 (Grey), 支出済額 (Blue)

問い合わせ 上下水道課庶務係 ☎ 22-7768